

# 新専門委員会「いっせいでスタート」

日遊協活動の中核となる新しい8つの専門委員会のうち、広報、人材育成、社会貢献・環境対策、経営改革、流通制度、遊技機開発、遊技機健全化の7委員会が4月、いっせいにスタートした。残る1つの支部強化委員会は5月28日、第1回定例理事会開催に合わせて開かれる。

## 遊技機開発委員会

4月16日  
本部会議室  
出席委員等16人

### 新たな遊技機を開発「消費時間」も考慮に入れ

基本方針として、パチンコ・パチスロのお客様の減少を食い止め、さらには増大につなげる遊技機の企画・開発を行なうことを確認した。

——を確認した。

①の新たな遊技機の企画・開発、②のコストダウン方策は、パチンコ・チーム、パチスロ・チームの2つに分かれて検討していく。ことし7月ごろに実施する③のファンアンケート調査、④のノンプレイヤー体験調査の結果は、①の新たな遊技機の開発にフィードバックさせる。

#### 開発試作機で日工組に要望

この後、パチンコ、パチスロの2チームに分かれて、新たな遊技機の企画・開発を討議した。その結果、パチンコ・チームとしては、「消費時間」と「わかりやすいゲーム性」をテーマとしていくことを確認した。

消費時間については、例えば、サラリーマンが退社後に来店して気軽に2時間ほど遊べるような、時間を比較的かけないで楽しめる遊技機の検討からスタートする。すでに遊技機開発委員会の前身未来遊技機部会が消費金額と消費時間をテーマに検討し、09年度に消費金額に焦点を当てた「1円パチンコのエッセンスを持った4円パチンコ機」、つまり大当たりまでの時間が早く、大当たり中のゲーム性を楽しめる通称CRAA機を試作して、近く日工組に同等な性能の遊技機の検討・開発を要望する段階になっている。しかし、同部会の審議では消費時間の課題が積み残しとなっていたので、定量制などから改めて改め

#### 5月の行事予定

7日(金)	10:00~16:50	遊技機取扱主任者講習・更新(名古屋ガーデンパレス)
11日(火)	13:00~15:00	経営改革委員会
12日(水)	10:00~17:10	遊技機取扱主任者講習・新規(メルパルク仙台)
	13:30~	論文・作文コンクール最終審査
	15:30~17:00	東京都・関東支部役員会議
13日(木)	10:00~16:50	遊技機取扱主任者講習・更新(メルパルク仙台)
	13:00~15:00	広報委員会
14日(金)	15:00~17:00	人材育成委員会
	15:00~17:00	社会貢献・環境対策委員会
17日(月)	13:30~	リサイクル推進委員会
18日(火)	13:30~	不正対策室会議
	15:00~	高原の風ミーティング
19日(水)		貯玉補償基金理事会
20日(木)	13:00~16:00	東京都・関東支部 中古機流通勉強会(すみだ産業会館)
21日(金)	13:00~15:00	遊技機開発委員会
	15:30~17:30	遊技機健全化委員会
	14:00~16:00	有識者会議(グランドアーク半蔵門)
25日(月)	10:00~16:50	遊技機取扱主任者講習・更新(メルパルク広島)
	13:30~16:00	セキュリティ対策委員会
27日(木)		九州支部チャリティゴルフコンペ(ザ・クイーンズゴルフクラブ)
28日(金)	9:30~12:00	理事会(グランドハイアット福岡)
	13:00~15:00	支部強化委員会(同)
	14:00~19:00	九州支部総会、パネルディスカッション、懇親会(同)

て委員会で取り上げていく。

パチスロ・チームは、「壁にぶち当たっても、ファンを増やすため、問題を取り越える策を検討する。ゲーム性と射幸性に頼らない考え方を再考する。1円パチンコが増えてきたことを参考に、消費金額とリターンバランスを考えて提示してみる」との方針を決めた。

# 流通制度委員会

## 「取扱主任」で活発に議論 日遊協初の委員会スタート

4月14日  
本部会議室  
出席委員等13人

4月にスタートした新組織の中で、日遊協としては初めて設けた委員会の第1回会合が開かれた。冒頭、出席した深谷会長が「前回までの制度が風通しがどうしても悪いので、新組織の専門委員会制度とした。作業部会をランクアップして、屋上屋を重ねることをやめようと4月からスタートした。委員長には、日遊協の副会長の要職にある石山敬達氏にあえてお願いした。討議されたことが即実現するスムーズさを期待している」とあいさつした。

### 「販社が半数、力を合わせよう」 石山委員長は「日遊協初めての」

販社委員が半数を占めてスタートした流通制度委員会



試みであるこの委員会は、半数の委員が販社の方々で占めている。みんなで力を合わせ推進していきたい」と決意を語った。

各委員の自己紹介のあと、第1回の会議であることから議題を特に決めなかったが遊技機取扱主任者制度について議論が活発に展開した。

パチンコ・パチスロそれぞれが専門化著しい現在、テストのあり方はどうか。取扱主任者のレベルアップ。それとリンクした更新テストを受ける期間の幅。テストの出身。全商協や回胴遊商の研修との関連などさまざまに意見交換されたが、今後、取扱主任者制度の内容、運用、制度に分類して議論を深めることになった。

### 遊技機健全化 委員会

4月16日  
本部会議室  
出席委員等20人

### 「勉強会」改善で協議

#### 11月には工場見学を

基本方針として、遊技機、周辺

機器、遊技環境全般に関わる不正情報の収集に努め、ホール、メーカー、販社等が情報を共有し対策を講じていくこと、早期発見、再発防止に向けて内外に啓蒙・啓発活動を推進することを確認した。

事業計画として、①昨年に引き



遊技機健全化委員会であいさつする梅津委員長

続いて不正対策勉強会を開催②メーカーの工場見学を実施③電子申請に向けた勉強会開催——の3点を確認した。不正対策勉強会は6、7月に東京、大阪、名古屋、福岡、広島で集中的に開催することが決定している。メーカーの工場見学

### 経営改革 委員会

4月14日  
本部会議室  
出席委員等14人

### 消費税をさらに検討へ

基本は短、中、長期別テーマで

委員会のスタートに当たって、福井章・明日の経営創造室室長が「日遊協は活発に動きつつあり、経営という大きなテーマであるけれども、大いに議論、研究を重ねていきたい」とあいさつし、山内伸委員長は「短期、中期、長期に分けて目標を立てている。みなさんとともに討議を深め、実りある委員会にしたい」と抱負を話した。

〈短期テーマ〉として、防災・防犯などリスクに対応できる組織づくりの研究や省エネ法への対応。〈中期テーマ〉としては新たなビジネスモデルの創造としての低貸玉営業の研究、〈長期テーマ〉としては実際のホール経営研究などをあげている。

## 社会貢献・環境対策 委員会

4月8日  
本部会議室  
出席委員等14人

### 10月30日に第3回植樹 共生の森、下草刈りも2回

共生の森の今年度の計画が報告された。6月26日に第1回下草刈り、9月11日に第2回下草刈り、10月中旬にシイタケ発生操作（ホダ木の打撲・散水）、10月30日に第3回植樹を予定している。特に9月11日の第2回下草刈りは第4回遊技産業マネジメント・カレッジ（同月9～11日）の最終日にあたり、昨年と同様、マネジメント・カレッジの研修生も社会貢献活動の一環で参加する。10月30日に行われる第3回植樹には、会員とその家族約120人、日遊協ボランティア派遣隊と委員約100人、現地の埼玉県森林サポーター隊とモー森の少年団らの参加を予定している。当日は広葉樹300本（埼玉県が120本支給）を植樹する。ホール5団体（全日遊連、日遊協、同友会、余暇進、PCSA）で進めている省エネ活動・エコホール宣言の進捗状況が報告された。4コマ漫画形式による省エネのノウ



社会貢献・環境対策委員会でレクチャーする日本たばこ産業㈱・山下部長

ハウ集を業界誌、広報誌に年4回ほど掲載する。第1回は「ムダな電気はつけないで！全部一緒にスイッチを入れてはダメ！」のタイトルで、開店前に全部の照明とエアコンのスイッチを入れて電気を無駄遣いするなど従来のホールの悪しき習慣を指摘し、ホール従業者に省エネへの理解と興味を深めてもらう。（15ページに4コマ漫画の省エネ・ノウハウ）

委員会の冒頭、日本たばこ産業（株）・山下和人社会環境推進部長が出席し、厚生労働省の「職場における受動喫煙防止対策に関する検

討会報告書」、同省が2月25日に都道府県へ発した「受動喫煙防止対策について」等を資料に、禁煙、受動喫煙防止に関する国の現状、動き等をレクチャーした。

## 広報委員会

4月8日  
本部会議室  
出席委員等11人

### HPトップの見直し検討 バナー整理、ビジュアルに

今年度の事業計画の一つとなっている、日遊協ホームページの改革について審議した。同ホームページを制作しているチェックファイールド（株）から目代純平社長らが出席、3月1～31日の期間中の、ホームページ利用状況の解析結果が報告された。それによると、この期間のビジュアルは6245件。直帰率（サイト内の他のページに移動せず、1ページの閲覧だけで辞めてしまうケース）は44・18%だった。ページごとに見た上位コンテンツは、①トップページ②日遊協とは③パチンコ産業の現況「売上・参加人口・活動回数」（レジャー白書調べ）④取扱主任者試験日程⑤取扱主任者試験受付（広島会場）⑥広報誌最新号のご案内などとな

っている。

同社は今後の課題として、トップページにバナーが乱立して殺し合っており整理が必要なこと、とくに店長等講習・試験、遊技機取扱主任者講習・試験のバナーを目立たせるとともに内容を整理し、両講習・試験の申し込みをしやすくすること、トップページのメイン画像スペース（現在はイメージ画像のみ掲載）の有効活用、などを挙げている。

日遊協活動を社会や会員に伝えるには、広報誌以外にホームページでの広報が有効であるとして、今後、委員会として改善のアイデアを出していく。当面はトップページの見直しを検討していくことになった。

また、日遊協の社会貢献・環境対策活動を広く世間に発信するため、NPO法人神戸国際ハーモニーアイズ協会の社会貢献専門動画サイト「Waju（ワッジュ）」に、埼玉県嵐山町で日遊協が行っている里山造成事業「共生の森」の動画を配信したこと、今後も同協会とのコラボレーションを図っていくことが報告された。

# 人材育成委員会

4月9日  
本部会議室  
出席委員10人

## サイトでPR、就職合同説明会を具体化へ ブース参加

今年度の事業計画のうち、パチンコ産業合同説明会の企画について集中審議した。これは、就職活動中の学生を対象に、パチンコ業界全体と各業種（ホール、遊技機メーカー、販社、周辺機器等）についての正しい知識と魅力を伝えて、業界へ優秀な人材を呼び込み、その派生効果として若年層ファンを開拓する——などを目的としている。

具体的には、(株)リクルートなどの就職活動サイト内にパチンコ産



パチンコ産業合同説明会を審議した人材育成委員会

業の特集ページを設けて事前PRするとともに、11〜12月に東京・有明の東京国際展示場（東京ビッグサイト）などで開催される大規模な就職説明会に日遊協としてブースを出し、業界の全体像や各業種の仕事内容について学生たちに説明する。一方で、日遊協ホームページに就活学生用のページをつくって会員企業を紹介し、会員企業のホームページにもリンクできるようにして会員企業の就職説明会へ誘導する。そのためには、学生たちが楽しみながら興味も持てるようなプログラムづくりが重要となる。

### リクルート案をたたき台に

この日は(株)リクルートの担当者が出席し、同社が作成した「パチンコ・パチスロ業界採用支援プロジェクト案」をたたき台に議論が進められた。担当者の説明では、一般的な学生の就職活動の流れは、  
①ポータルサイトに自分の情報を登録  
②サイトを通して業界・企

業の情報を収集 ③就職説明会イベントへ参加 ④エントリー ⑤個社説明会への参加 ⑥エントリーシート提出 ⑦面接 ⑧内定——の順となる。「学生の頭は就職活動初期の段階では柔らかく、いろいろな情報を素直に吸収する。一定の業種・業界への志望が固まっ

からでは遅いから、初期の段階でしっかり広報し、イベントを組んでいくことが重要」との説明があった。説明会イベントとウェブサイトの内容について、4月中に各委員がメールで意見を出し合い、7月には全体のデザインをつくりたいとしている。

## セキュリティ対策委員会

# 有力誌との交渉進む 攻略法詐欺撲滅キャンペーン

第44回セキュリティ対策委員会（委員長・山田久雄日遊協副会長）が4月27日、日遊協会議室で開かれ、攻略法詐欺への新たな対策を協議した。この中で、コンビニで売られているファン雑誌のうち、攻略情報社の広告を掲載していない複数の有力な雑誌と協力して攻略法詐欺撲滅のキャンペーンを展開する方針を固め、小委員会が主要な数誌と交渉して前向きに検討されていることが報告された。

ン雑誌の広告に掲載されているほか、PCサイト、携帯サイトでも配信されるが、有力なファン雑誌によるキャンペーンが実現すれば、ファンに対する攻略法詐欺への注意喚起に大きな効果が期待できる。前回の委員会で報告された83誌（機種情報誌、コミック誌、一般週刊誌、ホール情報誌）を対象とした攻略会社広告掲載の有無の調査結果では、攻略会社広告を載せていたのは19誌。この中で攻略会社広告の割合が100%だったのが5誌、50%以上だったのが10誌だった。